

令和 6 年度 県立下妻第一高等学校附属中学校自己評価表

目指す学校像	【目指す学校像】 様々なことに挑戦でき、自己の可能性を広げられる学校 【育てたい生徒像】 社会の発展に貢献し、よりよい未来を切り拓くリーダーの育成 ○ よりよい未来の創造に向かって能動的に挑戦し、心身ともにたくましく成長する生徒 ○ どんな状況にも柔軟に対応できる汎用能力をもつ生徒 ○ お互いの違いを認め、それを尊重し合意形成を図りながら、他者と対話し、協働できる生徒 ○ デジタル機器の効果的な活用をととして、社会課題を自ら設定し、解決に向けて行動できる生徒		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
前年度に続き、様々なことに挑戦することができ、各種成果を残すことができた。 探究的な学びを主軸においた教科横断的な学習活動や課題解決型の授業では、生徒による主体的・対話的で深い学びが展開され、高いレベルでの知識・技能及び思考力が身に付いた。 体験活動や協働学習、学校行事等が前年度より充実して行われ、生徒の自主性や自己肯定感が育まれた。 本校の特色ある教育活動である「為桜 CIIS メソッド」を見直し、さらに深化させていくことが課題である。	協働的・探究的な学びの充実 「為桜 CIIS メソッド」の実践	①「下高楽習スタイル」である、「分からない」を大切に、「なぜ？どうして？」を授業のキーワードとした課題解決型授業を実践する。	A
		②少人数授業展開やT Tによる授業を実践することで、人間関係も含めたきめ細やかな学習指導を行う。	A
		③1人1台端末やI C T機器を効果的に活用することで主体的・対話的で深い学びを実践する。	A
		④生徒の学びを最大限に支援し、生徒の学びを最大限に引き出すために、授業内評価、単元テストや小テスト、教科面談を計画的に実施し、生徒の主体的に学習に取り組む態度の育成と学力の向上を図る。	A
		⑤「下高楽習スタイル」である探究的な学びをととして、教科横断的な学習ができる生徒を育てる。	A
	基本的な生活習慣の確立と自主的、自立的な態度の育成	⑥挨拶や生活のきまり、礼儀やマナーについて学活等で適宜指導を行い、附属中生としての生活習慣の基礎を確立する。	A
		⑦各委員会活動や係活動を充実させ、生徒が主体的に取り組める行事等を企画し、自主的、自立的な態度を育成する。	B
		⑧生徒が主体的に取り組めるよう、課題解決型授業を積極的に実践していくとともに、生徒の実態に即した学習習慣のさらなる定着を図る。	A
		⑨探究活動および探究プロジェクト関連行事等をととして、コミュニケーション力や実行力、発信力、創造力等豊かな人間性を育むとともに、課題解決に向け粘り強く物事に取り組む忍耐力や、その過程で経験する困難に遭遇しても自ら置かれた状況に適応することにより苦しみを克服することができる力（レジリエンス）といった精神的なたくましさも育む。	A

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

		⑩高校生等との異年齢交流を推進し、自立心とリーダー性を育てる。	A
		⑪給食指導や食育等をととして、基本的な生活習慣と健康的な心身の育成に努める。	A
	特別活動の充実	⑫自ら考え、自ら行動する活動の充実を図る。	A
		⑬学校行事等をととして、他者理解を深め、人間性や社会性の育成を図る。	A
		⑭クラス運営に必要な組織をつくり、適切な役割分担ができる活動の充実を図る。	A
		⑮積極的な生徒会活動、部活動への参加を促進する。	B
		⑯キャリア・パスポートの活用をととして、小中高と継続的なキャリア形成を支援する。	B
		⑰体験活動や交流活動をととして、自分の生き方について考える機会を設ける。	A
	広報活動の推進と地域との連携	⑱生徒の活躍する場面の発信等を掲載した学校ホームページを充実させる。	B
		⑲生徒が中心となった小中連携や中高連携、学校説明会や学校公開、公開授業等の内容を充実させる。	A
		⑳下妻市役所や地元企業、大学等との連携をととした学習活動を実施する。	B
		㉑学校評議員会、PTA、同窓会等との連携の強化と情報公開に努める。	A
		㉒高校との異年齢交流を推進する。	A
		㉓卒業生や地域の方々、外部機関との交流を図り、自分の生き方やキャリアについて考える力を養う。	A
	働き方改革の推進	㉔学校全体で協議し、業務の精選を行い、事業の削減に努める。	A
		㉕ICT 機器を効果的に活用し、情報伝達や共有を図る。	A
		㉖在校時間を管理し、時間を意識した働き方の改善を推進する。	A
		㉗適切な役割分担と職員間及び校務分掌の連携を推進し、責任と権限の明確化を図る。	A
	キャリア教育の充実	㉘各種セミナー等をととして、興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成を図る。	A
		㉙キャリア・パスポートを活用し、進路計画の立案と暫定的選択をする機会を設ける。	A
		㉚キャリア・パスポートを活用し、自己理解の深化と自己受容を深める。	B
		㉛探究学習や学校行事等をととして、生き方や進路に関する現実的な探索を支援する。	B

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

			授業改善と学習評価の充実	③②計画的に学習指導方法や観点別評価方法を研究・実践し、教員間で情報交換することで授業改善を図る。	A	
				③③他校視察や相互授業参観、または各種研修会へ積極的に参加することで授業改善を図る。	A	
				③④生徒による「授業満足度」の平均値 3.2 以上を目指す。	A	
評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題	
教科	国語	「話す・聞く」、「書く」、「読む」の基礎学力の充実・向上を図る。	日常生活や社会生活から課題を設定し、「ことば」を用いて課題解決を図ることができるような授業を実践し、基礎学力の充実・向上を図る。 ①	A	A	○自己評価の充実を図り、自己調整能力を伸ばしていく必要がある。 ○「知識・技能」の観点における基礎学力のさらなる向上を図る。
		学習形態を工夫し、思考力・判断力・表現力の向上を図る。	学習活動に適した学習形態を導入し、知識・技能を活用できるような話し合い活動やグループ活動を行い、協働学習の中で思考力・判断力・表現力の向上を図る。 ③	A		
		ICT 機器を活用し、学習指導の充実を図る。	1 人 1 台端末を活用し、思考を「見える化」したり、個に応じた指導を行ったり、主体的な学びの推進を図る。 ③	B		
		各単元において、観点別評価の充実を図る。	生徒の資質能力を向上させることができるように、指導に生かす評価、記録に残す評価を組み合わせて単元を構成する。 ④	B		
		授業改善をおこなうことで、学習指導方法や観点別評価方法を研究する。	計画的に学習指導方法や観点別評価方法を研究して実践することで、教員間で情報交換しながら、授業改善を図る。 ③②	A		
	社会	基礎学力の充実・向上を図る。	小テストや単元テストを実施し、知識の定着度を定期的に確認する。 ①④	B	B	○授業での取組やテストの結果に対して、フィードバックする場を限られた時数の中で効率的に設定していく必要がある。
			課題等を活用し、生徒の基礎学力の向上を図る。 ④	B		
		相互授業参観等を実施し、授業改善を図ることで生徒の学習意欲を喚起する。	適切な発問等をとおして生徒の興味・関心を高め、学習意欲を喚起する。そのために相互授業参観等を実施し、研鑽に努める。 ④⑤	A		
			ICT 機器の活用により生徒の視覚を刺激し、また、生徒自身の ICT 機器の使用により興味・関心を高め、探究的な学びに発展するよう心掛ける。また、グループでの話し合いや協働学習等のアクティブ・ラーニングを積極的に導入し、生徒の学習意欲を高める。 ①③④⑤	A		
		生徒の表現力を育成する。	プリントや地図、資料集などを使用し、多くの教材を活用することで、生徒が自ら意欲的に授業に参加できる体制を整える。また、主体・協働的で深い学びを実践し、生徒自ら考え、表現する授業を実施する。 ①③	B		
数学	基礎学力の定着と学習に対する自己調整力を高める。	TT による授業展開をすることで、きめ細やかな学習指導を行う。 ②③②	A	A	○少人数授業よりも、TT による授業展開を今後も続ける方が効果がある。授業の中で、学習に遅れがちな生徒の補充をその場でできるように指導していきたい。また、複数の目で	
		授業と連携した課題を定期的に課すことで、家庭における学習習慣と基礎学力の定着を図る。 ④⑧③④	A			
		小テストや単元テストを実施することにより個々の学習状況を把握し、それを生徒にフィードバックすることで、今後の学習課題に対する自己調整力を高める。 ②⑧	A			

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

教科	数学	課題解決型授業を実践し協働的な学習活動を確立する。	分からない部分を明確にし、疑問点をもって授業に臨めるようにするために予習をする習慣を確立する。 ①⑤⑫	B		確認することで、個々の学習状況に対応できるようにしたい。今後も、協働的な学習スタイルを行うことで、生徒の主体的に学ぶ態度を育成していきたい。
			グループワークやグループディスカッションを積極的に行うことで、生徒どうしが教え合い、課題解決が図れるような授業スタイルを実践する。 ①⑤⑧⑫	A		
		ICT 機器を利用した個別最適化学習を図る。	授業への興味・関心を高め、より深い理解が得られるよう ICT 機器を積極的に授業で導入する。 ③	A		
			学習アプリや双方向ツールを利用することで、個別最適化学習を図る。 ③	A		
		授業改善をおこなうことで、学習指導方法や観点別評価方法を研究する。	計画的に学習指導方法や観点別評価方法を研究して実践することで、教員間で情報交換しながら、授業改善を図る。 ③②③④	A		
	理科	生徒の学習意欲の喚起	授業方法を研究し、生徒が主体的・対話的で深い学びを実践できるような授業を展開する。 ①⑤	A	A	○学習指導および学習評価について、次年度も継続して改善に努め、生徒の学力をさらに向上させたい。また、授業時数の確保について学校全体で課題が残り、理科では授業の振り返りをする時間まで十分に確保することが難しい。そのため次年度も引き続き指導方法を工夫して知的達成度を向上させるようにしたい。
			生徒用端末の活用方法を研究し、協働的・探究的な学びを促す学習指導を行う。 ③	A		
			授業では実験を実施し、実物に触れる機会を設け、生徒の興味・関心を高める。 ①②③	A		
		生徒の基礎学力の向上	I C T機器を活用し、視覚的に理解しやすい授業を展開する。 ③	A		
			カリキュラムマネジメントの充実に努め、学習指導および学習評価の改善を図る。 ④	B		
			小テストや課題を適宜活用し、基礎学力の向上を図る。 ④⑤	A		
		授業改善と学習評価の充実	単元ごとに単元テストや授業に対する振り返り等を行い、知的達成度、授業満足度の向上を図る。また、中高の連携をより一層図り、授業改善に取り組む。 ③②③④	C		
	音楽	基礎的な学力の充実・向上を目指すとともに、学習意欲を高める授業展開の工夫を図る。	小テストや実技テストを実施し、知識・実技の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育てる授業を展開する。 ①③④	A	A	○授業内容に沿ったICT機器の効果的活用能力を身に付け、探究的な学びにつなげていきたい。 ○演奏や発表の機会をさらに増やす取り組みをしたい。
			個に応じた指導の充実を図り、個々の学習状況を細やかに看取りながら適切な評価に努める。 ②④⑧⑫	A		
		授業改善を行うことで、協働的・探究的な学びの充実を図る。	ペアワークやグループ学習を通じて、表現する場や意見を発表する機会を増やし、生徒の学力向上と主体的に取り組む姿勢を育てるとともに課題解決型授業を実践する。 ①③⑧	A		
			ICT 機器を効果的に活用した授業を研究し、協働的・探究的な学びにつながる授業展開をする。 ③	B		
			計画的に学習指導方法や観点別評価方法を研究・実践し、教員間で情報交換する。 ③②	A		
		鑑賞能力の育成を図る。	教科横断的な探究活動を軸におき、様々な視点から音楽表現について考え、音楽の良さや美しさを味わうことができるようにする。 ⑤	B		
	美術	基礎学力の充実・向上を図る。	PDCA サイクルを実践し、基本的な知識や技能の定着を図る。 ④	A	A	○単元時数の調整・コントロールが課題である。 ○ICT 機器を用いた活動をバランスよく授業に取り入れて
			個に応じた指導の充実を図り、個々の学習状況を細やかに見取りながら適切な評価に努める。 ②	A		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

教科	美術	生徒の学習意欲を喚起する。	魅力ある題材や ICT を効果的に活用した授業を研究し、主体的で協働的・探究的な学びにつながる授業展開をする。 ②③	B		いきたい。 ○保健室登校等の生徒に対する学習課題の提供や補充指導を行いたい。
		芸術に親しみ、豊かな感性を育む。	教科横断的な学習を工夫し、芸術作品のよさや社会と美術の繋がりをより深く感じられるよう鑑賞学習を充実させ、表現の魅力や楽しさを伝える。 ⑤	A		
		授業改善をおこなうことで、美術的素養をより身に付けることのできる学習を目指す。	教材内容を精選し、教師自らが授業の中で実際に範を示すことを含め、アクティブ・ラーニングを取り入れながら生徒の感性・創造性を刺激し育むことに留意する。 ①③④	A		
	保健体育	運動の合理的な実践と、知識の定着や基礎体力の向上を図る。	ICT 機器・ワークシートを活用することで、運動に対する知識を深め、運動に対する意識を高める。 ①③⑧	A	A	○様々な研修会に積極的に参加し、授業内容の充実に努める。 ○他教科の授業を参観し、授業のヒントになるものを得たい。 ○暑さ、寒さが年々厳しくなっている中で、授業をさらに工夫していきたい。
			体づくり運動やスキルテストを実施し、技能と基礎体力の向上を図る。 ④⑨	A		
		集合・整列・礼法など基礎的態度の定着を図る。	日々の授業において、自主的に実践できる態度を育てる。 ⑥⑧	B		
		コミュニケーション・表現力の向上を図る。	グループワークを実践し、お互いに教えあったり主体的な活動を促したりする活動を行う。 ⑧⑨	A		
			ワークシートを活用し、疑問、方法、成果等を表現する。 ①⑧	A		
		授業改善を行うことで、保健体育に対する意欲を高め、心身共に健康な態度を育む。	個々の課題を明確にし、個に応じた指導を行う。 ①③⑧	B		
			わかりやすく楽しみながら運動に取り組み、生涯に渡り運動に親しむ健康的な態度を育てる。 ①⑧	A		
	技術・家庭	学習意欲を高める指導計画や題材の工夫を図る。	自立した生活に向けて、様々な技術の発達や環境とのかかわりなどに目を向け、持続可能な社会の実現を意識した授業内容を工夫する。 ①②③④	A	A	○生徒達への長期休業中の課題として、実生活に即した知識・技能を、様々な内容について問題解決できるよう検討したい。
			実験や実習などの体験的学習を通し、知識・技術の習得を確認するとともに、思考力・判断力・表現力を育てる授業を展開する。 ①②③	A		
		課題解決型学習の充実を図る。	基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るとともに、実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れ、生活を工夫し創造する資質・能力を育てる。 ①②③⑤	B		
			ICT 機器を活用し、グループ学習など主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業を展開する。 ①③⑤	B		
		授業改善を行うことで、技術・家庭科の基礎的・基本的な知識及び技能などの育成を目指す。	主体的・対話的で深い学びの実現のため、多様な学習活動を組み合わせて授業を組み立て、物事を捉える見方・考え方を学びの過程の中で働かせ、より質の高い深い学びにつなげる。 ①②③⑤⑥	A		
	英語	4 技能をバランスよく育成する授業を工夫する。	授業内の帯活動を活用し、アウトプットを意識したインプット活動を行い、論理的に表現するために必要な思考力の育成を図る。 ①②	A	A	○4 技能のバランスが取れた指導を目指し、課題であるリスニング力育成に向けた活動の機会を数多く設けることができた。次年度はスピーキングおよびライティングに係る指導をより体系化し、生徒が
		英語発信力の育成を図る。	英語でのプレゼンテーション活動に向けたスピーキングやライティングの段階的指導を体系立てて行う。 ①②	B		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

教科	英語		自分の考えを表現する活動やそれを評価するパフォーマンステストなどを計画的に行い、事後のフィードバックを通して表現力を深める。 ①②④	A		既習の知識・技能を生かし、より自分の想いや考えを表現する言語活動ができるよう支援していきたい。
		探究的思考力と学習意欲の向上を図る。	生徒の興味関心を高める探究的な問いを工夫し、他と協働し、自己の考えを深められる授業を実践する。 ①②⑤⑨	A		
			クロムブックやミライタッチなどの ICT 機器を活用した授業の研究、実践を行い、生徒の理解を深め、表現力を広げる指導法の在り方を検討する。 ③	A		
		学習評価を基に授業の改善・充実を図る。	生徒の学習評価の場面や方法を工夫しながら、学習の過程や成果を評価した結果を基に生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。 ③②	A		
教 務	授業改善をおこなうことで、探究的な学びの充実を図る。		授業の開始時刻及び終了時刻の厳守に努める。 ⑥⑫	A	A	○授業改善に向けた相互授業参観や指導法研修を継続する。 ○会議資料のデジタル化に努める。 ○暑さ対策を取り入れた学校説明会の企画、実施。 ○定期的に学校行事や各学年の取組みを発信し、学校 HP を充実させる。 ○小学校や学習塾へ向けた広報活動の時期と内容を検討する。
			授業担当者の出張・年休等に際しては、授業の振替を徹底する。また、急な変更が生じた場合にも、学年や教科等の協力を得ながら、授業時間の確保に努める。 ①～⑤	A		
			相互授業参観や各種研修会、ICT 支援員を有効活用することで、課題解決型授業の改善や ICT 機器を利用した学習指導方法の改善を推進する。 ①～⑤②⑤③②～③⑤	A		
			授業アンケート、学校評価アンケートを実施し、結果を共有することで課題解決型授業の実践に向けて、授業改善を図る。 ①～⑤⑧②⑤④③⑤	A		
	指導と評価の一体化を実施する。		各教科と連携して校内研修を行い、観点別評価や指導の在り方について検討、改善を進める。 ④③②	A		
	校内諸データの整理と活用を進める		学校全体に関わる統計データの収集・管理を的確に行う。 ②④⑤②⑦	A		
			ICT 支援員を有効活用し、生徒 1 人 1 台端末を利用した協働的・探究的な学びを実践するための校内研修を計画的に行う。 ⑤③③	B		
			会議資料や情報共有等について ICT を積極的に活用し、デジタル化を推進する。 ②④⑤	B		
	学校広報活動の充実にも努める。		魅力あるスクールガイドを作成し、学校説明会・学校公開等で活用する。また、学校説明会や公開授業等では本校生徒の活躍の場を設け、小学生や保護者に、本校の特徴が最大限アピールできるように努める。 ①⑨	A		
			学校HPを充実させることにより、本校教育活動の公開に努める。 ①⑧⑤	B		
			小学校・学習塾等へ訪問や各市町村教育委員会の区分箱を通じて、広報活動を実施する。 ①⑧⑨	A		
生徒指導	基本的生活習慣を確立する。		登校指導及び巡回指導を通して校則遵守(特に服装)及び挨拶の励行を徹底させる。 ⑥	B	A	○挨拶のできない生徒が見られるので、声かけ等を行っていく。 ○生活アンケートを継続し情報を収集し、正確な生徒理解に努めたい。 ○スマホ・交通トラブルはないが、継続して指導していきたい。
			生徒が自ら考え、行動し、振り返ることで各自の生活における自己調整力を育成できるような指導を全職員で協働し実施する。 ①③⑥⑩⑪⑫	A		
	心の教育(規範意識とモラルの向上)を推進する。		マナーアップ運動や外部講師による講話等を通じて規範意識の向上を呼びかける。 ⑥	B		
			他者を尊重する気持ちを行動面で示すことができるような非認知能力の涵養を図る指導を、道徳や各教科の授業等学校生活のさまざまな場面で全職員が協働し展開する。 ⑨⑫⑬⑭⑰	A		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

生徒指導		いじめの未然防止を図るべく、級監および授業担当者を中心に生徒たちの様子を観察し、適宜面談等で生徒とふれあう時間を持つだけでなく、スクールカウンセラーの活用も勧めることで生徒が SOS を出し、相談しやすい雰囲気の醸成に努める。 ⑥	A		
	安全教育を推進する。	道徳の授業や携帯安全教室等を通して情報モラル教育の充実に努める。 ⑥	A		
		登校指導や巡回指導、定期的な自転車点検を通じて生徒の交通安全に対する意識の高揚につながる指導を実施する。 ⑥	A		
渉 外	P T A 活動の充実を図る。	附属中学校開校 3 年目に伴う、P T A 組織を編成する。 ⑳㉑	B	A	○ 3 学年での体制が完成され、今後どのような体制での定着と発展がされるか積極的に支援する。
		保護者も楽しめるような P T A 活動を進め、広報活動を充実させる。 ㉑	A		
特別活動	学校行事の充実を図る	学校行事の改善充実を図り、学校行事をととして他者理解や社会性の育成し、生徒の自主的活動を支援していく。 ㉒㉓㉔	A	A	○ 学校行事や係活動、委員会活動は充実した一方で、生徒会活動の立ち位置が不明確となっている。
	生徒の自己指導力の育成を図る。	ホームルーム活動や学校行事、生徒会活動、部活動等への積極的な参加をととして、強い精神力や協調性、自主自律の精神を育む等健全な心身の育成を図る。またキャリア・パスポートの活用を推進し、生徒が自ら活動を振り返り、検証する姿勢を育てる。 ㉕㉖㉗㉘	A		
	生徒の協働性を高める。	係活動や委員会活動、生徒会活動をととして生徒の協調性を育むとともに、集団の中での当事者意識を高め、協働性を育む。 ㉙㉚㉛	B		
キャリア教育	生徒が、主体的に進路選択をできるように支援を行う。また、学校行事等をととした体験学習を推進する。	キャリア・パスポートを活用して、生徒が小中高と継続的に自分のキャリアについて見通しをもって学習活動に取り組めるようにする。 ㉜㉝	A	A	○ 生徒が自身の将来や職業について主体的に考えることができる機会をより体系的に設定する。
		先輩講話や学校行事、校外学習等の体験活動をととして、生徒が職業観を持って将来の生き方について主体的に考えることができるようにする。 ㉞㉟	A		
		単元テストおよび「学力推移調査」等の校外模試を活用して、生徒の学習状況を把握し、適切な指導、助言及び評価を行う。 ㊱㊲㊳㊴	A		
図 書	図書委員会活動の充実を図る。	生徒会の図書委員会活動を活発にし、学校外の行事などにより多く参加するよう企画し、実施する。 ①⑧	A	A	○ 附属中ビブリオバトルの実施方法について、全校実施を継続するか、高校同様希望者を対象とした行事とするか協議検討が必要である。
	図書館利用を促進する。	広報活動を充実させ、クラス・生徒の利用増加を図り、ビブリオバトルを実施する。⑤⑥⑬	A		
		図書館と蔵書(電子書籍含む)の活用率の向上を図る。 ①②③⑨	A		
		授業時や探究活動時の図書館の利用と活用拡大を各学年・各教科に働きかける。 ①③④	A		
		生徒や教職員のニーズに応えられるよう、リクエスト用紙を活用する。 ②③④	A		
	図書館の環境美化に努める。	図書館内を、落ち着いて思索する空間として利用できるよう整え、心の教育の一助とする。 ⑨⑫	A		
保健環境	保健管理、保健教育、健康相談を組織的に運営し、生徒の心身の健康維持・増進を図り、健全な学校生活を送れるよう支援する。	健康診断、保健調査を計画的に実施する。 ⑦⑫⑬	A	A	○ 改修工事により教室環境はきれいな状態のためワックス掛けは実施していない。床の清掃用具はモップからワイパーに変更のため衛生管理面も
		救急体制の整備に努め、傷病者の救急処置や休養指導を適切に行う。 ⑥⑬	A		
		感染症の予防に努め、感染症の罹患等の状況を迅速に把握し、対応する。 ⑥	A		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

保健環境		健康相談をととして、生徒のメンタルヘルスについて支援を行うとともに、いじめの早期発見に努める。 ⑬	B		改善する。トイレの清掃・衛生状況に課題が見られるので、清掃監督者や保健環境部で協力して点検や美化に努めたい。 ○安全面では防災訓練の実施により非常時の安全確保に努めるとともに、施設・設備等に起因する事故を防止するための定期的・系統的な安全点検を実施することで、異常の有無等を早期に発見していきたい。
		トイレ、手洗い場等の衛生状況を定期的に点検するとともに、洗浄液の補充を行う。 ⑦⑭	B		
		学校薬剤師と連携し、学校環境衛生の維持管理に努める。 ⑳	C		
	学習環境の整備に努める。	清掃用具の調査・補充・管理を行うとともに、清掃指導を徹底し、学習環境の美化に努める。 ⑭	C		
		黒板消しクリーナーの洗浄や床のワックス掛けを実施し、教室を整備する。 ⑬⑭	A		
	生徒の安全を確保し、安全に対する意識を高める指導の充実を図る。	交通安全教室を実施し、交通ルールや自転車の乗り方などの指導をととして安全教育を行う。 ⑥⑫⑬	B		
		春季と秋季に防災訓練を実施し、非常時の安全を確保できるようにする。 ⑬	B		
	健康的な食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、楽しく食事できる ようにする。	円滑な配膳・片付けが行えるように指導する。 ⑪⑭	A		
		食に関する知識やマナーを身につける。 ⑥⑪⑫	A		
I C T	1人1台端末を用いて、個別最適化された学習支援を行う。	1人1台端末を活用し、授業内外における課題の提示や学習支援を適宜行う。 ③	A	A	○個別に最適化された学習方法を確立する。 ○ペーパーレス化を中心とした DX を推進していく。
	ICT 機器を効果的に活用し、情報伝達や共有を図る。	働き方改革の視点から、ICT 機器を効果的に活用し、生徒と教員間、教員同士の情報伝達や共有を図る。 ⑫	A		
探 究	生徒の発想を大切に、主体的、創造的な学習活動を展開する。	生徒の興味・関心などを基に学習集団（ゼミ）を組織し、附属中教員全体で指導を分担し、学年や学科の枠も外して指導する。 ①②⑤	A	B	○総合探究（ベーシック・アドバンス・プログレス）の各学年の系統性を整理する必要がある。
	異なる多様な他者と協働して主体的に課題を解決しようとする学習活動を展開する。	多様な情報や異なる視点から考えたことを基に、力を合わせたり交流したりして協働的に学ぶといった、基本的な探究過程を確立する。 ①⑨⑫	B		
	生徒一人一人の興味・関心に応じた学習活動を充実させるために、外部との連携を図る。	外部の教育資源を有効に活用し、校内に外部連携を効率的・継続的に行うためのシステムを構築する。 ⑨⑫⑬	B		
第1学年	「協働的・探究的な学び」の充実と主体的な学習習慣を育成する。	生徒が主体的に取り組めるよう、探究的な授業を積極的に実践していくとともに、生徒の実態に合ったホームワークの内容を確立し、学習習慣の定着を図る。 ①③⑤⑧	A	A	○普段の生活の中で小集団を作って行動する生徒が多く、自己判断している生徒が少ないように見えた。活動の場を増やすことで、一人一人が活躍できる場を設けていきたい。
	基本的な生活習慣の確立と自立的な態度を育成する。	挨拶や生活のきまり、礼儀やマナーについてホームルーム等で適宜指導を行い、附属中生としての基礎的な生活習慣の定着を図る。 ⑥	B		
		当番活動、係活動を充実させ、生徒が主体的に取り組める学級組織を編成し、自主的、自立的な態度を育成する。 ⑦⑩⑪⑫⑭	A		
	視野を広げ、夢や目標の実現に向けて努力する態度を育成する。	キャリア教育を充実させ、将来の夢や目標を常に意識した学習への取り組みができるように支援する。 ⑫⑬⑭⑮	A		

※ 評価基準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない

別紙様式 2 (中)

第 2 学年	「協働的・探究的な学び」の推進と主体的な学習習慣を育成する。	生徒が主体的に取り組めるよう、課題解決型授業を積極的に実践していくとともに、生徒の ①⑧⑨⑩⑫	A	B	○挨拶や決まり事を守る、規律を守るといった生活面での乱れが顕著となる場面がみられたため、生徒の基本的な生活習慣の確立、規律や決まり事を守ることの大切さを実感させるような場面設定が必要となると考えられる。
	自主的、自立的に行動する態度の育成	挨拶や生活のきまり、礼儀やマナーについて学級活動等で適宜指導を行い、附属中生としての基礎的な生活習慣の定着を図る。 ⑥⑩	B		
		当番活動、係活動、生徒会活動を充実させ、生徒が主体的に取り組める学級組織を編成し、自主的、自立的な態度を育成する。 ⑦⑩⑪⑫	C		
	夢や目標の実現に向けて努力する態度を育成する。	探究活動および探究プロジェクト関連行事、校外学習を通して、コミュニケーション力や実行力、発信力、創造力等豊かな人間性を育む。 ③⑨⑬	A		
		キャリア教育を充実させ、将来の夢や目標を常に意識した学習への取り組みができるよう支援する。 ⑫⑬⑭	A		
第 3 学年	「協働的・探究的な学び」の推進と確かな学力の定着と向上を図る。	生徒が主体的に取り組めるよう、課題解決型授業を積極的に実践していくとともに、高等学校への進学を見据えて基礎学力の定着と発展学習への取り組みを強化する。 ①⑧⑨⑩⑫	A	B	○附属中生としての生活習慣に関しては、その多くが家庭に委ねられている。規範意識を高める必要があるように思う。 ○生徒会活動の充実は急務である。企画運営に携わる機会が少ない。
	自主、自律、自律の姿勢を確立し、主体的に行動する態度を育成する。	附属中生としての基礎的な生活習慣の定着を図るとともに、自ら判断し主体的に行動する態度を育成する。 ⑥⑩	B		
		生徒会活動を充実させ、生徒が意欲的に取り組む機会を確保することで、自主的、自立的な態度を育成する。 ⑦⑩⑪⑫	C		
	夢や目標の実現を見据えて努力を継続する態度を育成する。	探究活動および探究プロジェクト関連行事を通して、探究心を養い、将来の進路選択に生かせるようにする。 ③⑨⑬	A		
		キャリア教育を充実させ、将来の夢や目標を常に意識した学習への取り組みができるよう支援する。 ⑫⑬⑭	A		

※ 評価規準： A：十分達成している B：達成している C：概ね達成している D：不十分である E：できていない